

## 第9回公開学習会

2022年4月に立ち上げた京都ケアラーネットは、これまで、多様なケアの経験から、ケアラー支援の必要性を市民の皆さんと一緒に考える活動を続けてきました。経産省が定義した「ビジネスケアラー」とは、正規で仕事をしながら介護する人を指します。ビジネスケアラーが2025年には300万人を超え、かれらに関連する経済損失が9兆円にもなるという指摘に大きな衝撃が走りました。生産性向上と人材確保という経済的側面が注目されていますが、今回の公開学習会では、京都の企業の第一線で社員の介護問題に向き合っている方々を講師に招き、具体的な仕事と介護の両立課題を、参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

### 仕事と介護の両立支援☆現場からの提言

#### ーケアラー支援とワーク・ライフ・ケア・バランスー

日時：2024年5月30日(木) 18時～20時半

会場(先着30名)+オンライン(100名) 参加費無料

会場：立命館大学朱雀キャンパス第2多目的室(1F)

報告者：吉元 恵美子さん (日本新薬グループ共済会事務局)

日本新薬グループ共済会は、介護費用に対する給付や介護相談室、共済会HPにてWEBセミナー動画を常時掲載、毎年恒例の仕事と介護の両立支援セミナーなどで日本新薬グループの社員と家族のサポートに取り組んでいる。



佐々木智一さん (佐々木化学薬品株式会社代表)

化学専門商社を経て、2000年に佐々木化学薬品(株)に入社。2006年から代表取締役役に就任し、薬品問屋から研究開発型企業への企業変革に取り組んでいる。今後は社員一人一人の価値を無限に発揮できる企業づくりを目指している。



司会：鈴木森夫さん (前認知症の人と家族の会代表理事) コメントーター：津止正敏さん (男性介護ネット事務局長)

申し込み締切：5月25日(土) オンライン参加の方は受付した後、zoomのリンクを送ります。

氏名・所属・連絡先(メールか電話番号)のほかに、対面かオンライン、いずれかの参加形式を明記してください。

【申し込み・問い合わせ先(京都ケアラーネット事務局)】

メール：carerkyotoactionnet@gmail.com

FAX：075-466-3306 (男性介護ネット事務局気付)



# 「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」 参加のお願い（略称：京都ケアラーネット）

2020年3月に制定された「埼玉県ケアラー支援条例」をはじめ、これまで、9地方自治体でケアラー支援条例が制定されました（2022年4月1日現在）。また、ヤングケアラーの全国調査では、小学生の6.5%、中学生の5.7%、高校生の4.1%がヤングケアラーであり、その7割が「誰にも相談したことがない」実態があることがわかりました。ヤングケアラーという言葉に注目が集まることで、介護だけではなく、精神疾患をかかえる家族へのケア、しょうがいのあるきょうだいへのケア、不登校やひきこもる人と家族へのケア、日本語を第一言語としない家族へのケアなど、じつに多様なケアがあることが明らかになりました。

「ケア」は、私たちが生まれてから死ぬまで、必要不可欠でかけがえのない営みですが、今の日本社会では、そのほとんどを家族が担っています。ケアラーになることは、自分の体・時間・感情を誰かのために差し出すことであり、そのほかの生活（学業・仕事・余暇）にも影響をおよぼします。したがって、支援を必要とする人だけでなく、ケアラーにも、自分が望む人生を生きるための配慮や支援が必要です。

ケアラー支援への社会的理解と具体的な支援を広げるために、ケアラー支援条例は大きな役割を果たすと考えます。私たちは、子ども・若者ケアラー、親ケアラー、働くケアラー、ダブルケアラーなど、多様な要ケア児者とケアラーを含む全ての当事者の声を広く知ってもらうことを通じて、ボトムアップ（市民活動）で条例を制定し、具体的な施策の実施を推進することが、ケアを家族だけの責任にせず、社会全体でささえるしくみと地域文化・関係づくりにとって重要な過程であると考えます。

ケアラーの声を聞くことを何よりも大事にして、市民参画によるケアラー支援条例を広げるために、私たちは、「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」（略称：京都ケアラーネット）を立ち上げることにしました（2022年4月1日発足）。

この活動は、これまで京都でケアにかかわる活動や経験を有している個人・団体の緩やかなネットワークの場です。当面、①京都でのケアラー支援の条例化を目指して活動すること、②3年をめどとする期限付きの活動とすること、とします。多くのケアラー当事者団体、ケアラー支援団体にかかわる人たちに参加していただき、市民参画でのケアラー支援条例の制定を目指します。多くの方々の参加をお待ちしております。

（2022年4月1日発足）

共同代表（50音順）

2024年4月1日現在

- 池添 素（京都障害児者の生活と権利を守る連絡会事務局長）
- 大野 静代（男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局）
- 大原 ゆい（男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局）
- 小國 英夫（マイケアプラン研究会代表）
- 大手 理絵（コミュニティ通訳者）
- 奥村 弘（男性介護者を支援する会 TOMO 代表）
- 河西 優（子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト YCARP 発起人）
- 梶 宏（きょうと介護保険にかかわる会理事長）
- 加治屋 勝枝（宇治市障害者施設保護者連絡会代表）
- 勝谷 幸子（宇治市介護者（家族）の会代表世話人）
- 河合 雅美（認知症の人と家族の会京都府支部代表）
- 斎藤 真緒（子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト YCARP 発起人）
- 櫻庭 葉子（京都ヘルパー連絡会事務局長）
- 鈴木 森夫（認知症の人と家族の会前代表理事）
- 田島 英二（医療的ケアネット副理事長）
- 田村 権一（元息子ケアラー・よりよい介護をつくる市民ネットワーク）
- 塚崎 直樹（京都精神保健福祉推進家族会連合会（きょうかれん）会長）
- 津止 正敏（男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局）
- 中川 慶子（きょうと介護保険にかかわる会副理事長）
- 那須 勝子（高齢社会をよくする女性の会・京都代表）
- 萩本 良子（京都ヘルパー連絡会代表世話人）
- 長谷川 笑子（宇治市介護者（家族）の会世話人）
- 藤本 文朗（東山区不登校と引きこもりを考える親の会世話人）
- 松村 祐子（宇治市障害児・者父母の会会長）
- 鷲巣 典代（認知症の人と家族の会京都府支部世話人）

以上 25 人